省エネ住宅ポイント対象住宅 設計内容説明書について

【概要】

本ツールでは省エネ住宅ポイント対象住宅証明の技術的審査の申請に必要な「設計内容説明書」が作成できます。 サービス提供時以降の省エネ住宅ポイント対象住宅証明の技術的審査を申請する住宅に限り、 本ツールをご利用いただくことができます。

【作成について】

共通事項

及び は、プルダウンメニューから、 及び に選択できます。該当項目にチェックを入れてください

黄色セル

は、文字や数値を直接入力します。

青色セル

は、原則として、プルダウンメニューから選択します。直接入力も可能です。

プルダウンメニューに適当な文字や数値がない場合は、セルに直接入力してください。

設計内容説明書

鉄筋コンクリート造/鉄骨鉄筋コンクリート造専用です。

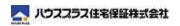
一戸建て住	宅について		使用する設計内容説明書			
	トップラン	ナー基準				
		外皮計算(H11年基準)	設3-1~3-3(5-1省エネルギー対策等級)の内、			
		断熱の性能区分、Q値、U値、R値	WEBプログラム上入力する部分			
		外皮計算(H25年基準)	設1-1~1-3(5-1 断熱等性能等級)の内、			
		断熱の性能区分、UA値(区分換算)、U値、R値	WEBプログラム上入力する部分			
		5-1 断熱等性能等級(区分換算)	設1-1~1-4(5-1 断熱等性能等級)			
		5-1 省エネルギー対策等級(区分換算)	設3-1~3-4(5-1省エネルギー対策等級)			
	一次エネル	ギー消費量等級5の性能を有する住宅	設2 (5-2 一次エネルギー消費量等級)			

共同住宅等	こついて		使用する設計内容説明書		
	トップランナー基準相当	首の共同住宅等			
	断熱性能要件	5-1 断熱等性能等級	設1-1~1-4(5-1 断熱等性能等級)		
		5-1 省エネルギー対策等級	設3-1~3-4 (5-1 省エネルギー対策等級)		
	一次エネルギー消費量	等級 5 の性能を有する住宅	設2(5-2 一次エネルギー消費量等級)		

設計の内容を示す数値や仕様の他、それらが示されている「記載図書」も必ず入力してください。

本ツールの使用に起因する一切の不利益に関して、ハウスプラス住宅保証(株)はその責任を負いません。 使用者の責任においてご活用ください。

本ツールは、 ハウスプラス住宅保証(株)への省エネ住宅ポイント対象住宅証明の技術的審査の申請を目的に作成されています。 上記の目的以外に、当社の許可なく、本ツールを複写、加工し、一般に公開、配布することを禁じます。



住戸タイプ		温熱1,	/4
部屋番号		Νο	1
省エネ住	宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号雲	整理表によ	

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 断熱等性能等級

(第1 - 1面)

												の欄を設計者が記入の	ひこと
性	能表示事項	頁 5 - 1	躯	体の断熱性能等	Ē			断熱性能等 断熱性能	開口	部の日射侵 <i>)</i>	\防止	5 - 1 八 結露発生防止対策	
	性能基準			外皮平均熱貫	流≅	മ			ř	令房期の		結露発生防止	
	仕様基準			開口部比率等	ηŧ	ま 注 (一)	高合		į	3射熱取得率		-	
		指針附則)		熱貫流率 +	構		型 <u>口</u> 開口音	ßσ.	F	開口部の		-	
		-34211137(3)		熱抵抗値 +	熱	た 橋部	熱貫流			射遮蔽仕様			
	等級			項目	設	計内容	?					記載図書	確認
汨	地域区分 5 - 1						建筑十二	等判断基準	. ≐Д	計施工指針(;	★ Bil \		欄
温 熱	断熱等	躯体の		外皮平均	٠.4		均熱貫流率		· nX	□ NG 丁 1日 下 (·	4431)	外皮平均熱貫流率	
環	性能	断熱性能等		熱貫流率	ĺ		築主等判		設計	施工指針(本	.則)	日射熱取得率計算書	
境	等級					設	計値 (別途計算	書によ	る W/m²)		断熱範囲図	
ェ						胆口並	7の劫要法域	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	店	14 答 11 /古	併用	計算U値計算書 仕上表	
エネ:		開口部の		冷房期の	·) <u>:</u>		『の熱貫流率 の平均日射	図 仕様∪ 対熱取得率	1但 A 値	計算U値	卅州	平面図	
ルギ		断熱性能等		平均日射熱			築主等判			- ├施工指針(本	.則)	矩計図	
ギー				取得率		設	計値(別途計算	書によ	る)			
消费								設計施工	炸솨	· (R(4 E) I)			
消費量				適用条件	·仁	主戸のほ	末の過半か	- 成司ルユ 外気等に接り				開口部比率計算書	
一に関						接	していない	接して		(附則利用不可)	可)	断熱範囲図	
関す					・厚	即部		1.2.3		4.5.6.7.8		計算以值計算書	
すること						一尸组 共同伯	ての住宅	0.11 0.09		0.13 0.08	未満 未満	仕上表 平面図	
J-		躯体の 1.	/11		(디미디	- 	0.09			断熱	矩計図	
۲		断熱性能等		断熱材仕様			,	++ /- \\		, , , , , ,	n 断熱		
				断熱材厚さ 熱抵抗値			mm) m ² •K/W)	熱伝導率(W/m·K)			
				熱貫流率	•		W/m ² ·K)						
		2.	/11	ツビキャナナ ノレナギ	(,				断熱		
				断熱材仕様 断熱材厚さ	•		mm)	熱伝導率()	函断熱		
				熱抵抗値	Ì		m²•K/W)	,		,			
		3	/11	熱貫流率	(W/m²·K)			\ b	卜断熱	-	
		0.		断熱材仕様	(,	n断熱		
				断熱材厚さ			mm)	熱伝導率(W/m·K)			
				熱抵抗値 熱貫流率	(m ² ·K/W) W/m ² ·K)						
		4.	/11		(,,			,	断熱		
				断熱材仕様 断熱材厚さ	•		mm)	熱伝導率()	断熱		
				熱抵抗値			m ² ·K/W)	<i>π</i> ιΔ 41 (vv/ III IV)			
		-	/11	熱貫流率	(W/m²·K)			\	ト断熱		
		5,	, 11	断熱材仕様	(NM 熟 N断熱		
				断熱材厚さ	(mm)	熱伝導率 (W/m⋅K)			
				熱抵抗値 熱貫流率	,		m ² ·K/W) W/m ² ·K)						
		6.	/11		(VV/III IX)) 9	断熱		
				断熱材仕様 断熱材厚さ			\	熱伝導率()	断熱		
				断款が厚さ 熱抵抗値	•		mm) m ² ·K/W)	熟仏导学 (VV / III• K)			
				熱貫流率	Ì		W/m ² ·K)						
		7,	/11	断熱材仕様	(ト断熱 B断熱		
				断熱材厚さ	•		mm)	熱伝導率(W/m·K)	3417((
				熱抵抗値	(m ² ·K/W)	,		•			
1		8.	/11	熱貫流率	(W/m²·K)) 4	ト断熱		
				断熱材仕様	•) 内	断熱		
				断熱材厚さ 熱抵抗値			mm) m ² ·K/W)	熱伝導率(W/m·K)			
				然加加恒 熱貫流率	•		m-·K/W) W/m ² ·K)						

住戸タイプ		温熱2/4	1
部屋番号		Νο	1
省エネ住	 宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号	整理表による	3

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 断熱等性能等級

(第1-2面)

_			1011 1 11 17 - 1						の欄を設計者が記入	
	等級		設計内容説明	闌					+=+0==+	確認
_	地域区分		項目			设計内容			記載図書	欄
温					彭	計施工指針	(附則)			
熱環		躯体の 9/11		()	外断熱		
境		断熱性能等	断熱材仕様	()	内断熱		
境			断熱材厚さ	`		尊率 (W/m⋅K)			
Ļ			熱抵抗値		<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>					
 			熱貫流率	(W/r	n ² •K)					
エネル		10/11		()	外断熱		
ギ			断熱材仕様	()	内断熱		
ギー			断熱材厚さ	(mm)	熱伝	算率 (W/m⋅K)			
			熱抵抗値	(m ² · I	(/W)					
費			熱貫流率	(W/r	n²∙K)́					
消費量		11/11		(,)	外断熱		
に関す			断熱材仕様	()	内断熱		
関			断熱材厚さ	(mm)	熱伝	尊率 (W/m⋅K)			
す			熱抵抗値		<td>`</td> <td>,</td> <td></td> <td></td> <td></td>	`	,			
る			熱貫流率	(W/r	n ² ⋅K)					
ること			・浴室下部の	基礎断					平面図	
٤			断熱			部の部分に準	ずる		基礎伏図	
			戸建住宅	その		不問	該当箇所	fなし	_ MC / ()	
			記載要	(断熱材	. —	11-3	100	10.0		
						置の上、壁・	床等との取	合部に		
						床下換気措		д цы		
			構造熱橋部	XVIII	CWE	, MI 1 3/2/11			断熱範囲図	
			の基準	内断熱工法						
			地域区分	1,2	3 , 4	5,6,7	8	\neg		
			断熱補強範囲	900	600	450	 	以上		
			熱抵抗基準値	0.6	0.6	0.6	_	以上		
				外断熱工法		1		->/_		
			地域区分	1,2	3 , 4	5,6,7	8	\neg		
			断熱補強範囲	450	300	200	-	以上		
			熱抵抗基準値	0.6	0.6	0.6	-	以上		
			がいめが至十世	0.0	0.0	0.0				
			等級4の	断熱材の種	重米百 /			١		
			等級400 場合のみ記入	天 断熱材の厚		mm)		,		
			物口のの記八	井 熱伝導率	PC (W/m·K)				
				熱抵抗値	(W/m ² ·K)				
				断熱材の利	1 1 1 1 1 1	VV/III · IX)		١		
				에 ++ ++ - =		mm)		,		
				壁 熱伝導率		W/m·K)				
				熱抵抗値	ì	W/m ² ·K)				
1				断熱材の利	<u>*</u>	77/111 13/)	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	
				ゆじ キャナナ ひ ほ	ラスス (夏さ (mm)		,		
				床 熱伝導率	(W/m·K)				
1				熱抵抗値	(W/m ² •K)			10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	
I										

住戸タイプ		温熱3/4
部屋番号		N o 1
省エネ住	宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号	整理表による

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 断熱等性能等級

(第1 - 3面) の欄を設計者が記入のこと

	等級		設計内容説明	洪						の欄を設計者が記入の	<u>のこと</u> 確認
-	支級 地域区分		項目	闸		<u></u>	 殳計内容		ı	記載図書	欄欄
温	地塊區刀		以口				計施工指針(R(d FIL)		마糀스目	们用
熱		開口部の	開口部比率の[文分		IX.		(נאנוא)		開口部比率計算書	
環		断熱性能等	m in thirt + wi	<u>~ /)</u>		ţ	也域区分			两日即60千日开日	
境		Z// //(Z		1,	2及び3		<u>5,6及び</u> 7	8			
		一戸建ての	(١١)		0.07未満		0.08未満	0.08	ŧ満		
エ ネ		住宅	(* ')		0.07以上		0.08以上	0.081			
イル			(3)		0.07以上		0.00以上	0.085 \$11.0			
ガギ			(1-1)		0.09以上		0.11以上	0.111			
ギー			(は)		0.11未満		0.13未満	0.13	卡満		
消費		共同住宅等	(61)		0.05未満		0.05未満	0.05	卡満		
費			, ,		0.05以上		0.05以上	0.05以	:I ⊢		
量に			(ろ)		0.07未満		0.07未満	0.07#			
関			(は)		0.07以上		0.07以上	ا0.07			
す			(187)		0.09未満		0.08未満	£80.0	卡満		
る			明ロ並ん	日日 口 立7/	の劫事法女	7 \\\/_	21/	┬=コ\®+□ <i>\k\i</i>	5101 T	2.0/ 4巫壬□≐上答書	-
すること			開口部の 断熱性能		の熱貫流率 %緩和のi			下記選択数値	UN N	2%緩和計算書 計算∪値計算書	
۲			ᆈᇌᅥᆂᄣ		/ひがタイロリノ	コロのど	,	8地域基準	準なし	□井▽爬町井百	
			開口部比率区分	1,	2及び3		4	5,6及び7			
			(11)		2.91		4.07	6.51			
			(3)		2.33		3.49	4.65			
			(は)	胆口	1.90 部の熱貫流	5k?	2.91 仕様U値	4.07 計算U値 (/ 併用		
				HIL	叩の怒見川	T	上7水∪ 直	可昇♥╚	πн		
			窓の日射遮蔽	窓の日見	討遮蔽仕槍	Ę				4%緩和計算書	1
			仕様		%緩和のi)				
					1						
			地域区分	開口部 比率		建具の	種類若しくはそ	の他又は付属部	材、ひる	さし、軒等の設置	
		一戸建ての	1~4地域	(11)	-						1
		住宅		(3)	-						
				(は)	-						
			5~7地域	(11)	- 18-		64m/8 + 1%s				
				(3)			<u> 射取得率か0.</u> えはひさし、軒等	74以下であるもの 笠を訟けるもの)		
								49下であるもの			-
				(は)					に、ひ	さし、軒等を設けるもの	
				(14)				設置するものにつ	いては	、外付けブラインドに限る)	
			0 111-1-1	(1.1)		受けるもの		* ********			4
			8地域	(11)			スはひさし、軒等		\I- 7\	さし、軒等を設けるもの	
				(3)			別取得率がの E設けるもの	0000 1 (00000)IC, U	とい、判 子を取りるもの	-
								49以下であるもの	に、		
				(は)					いては	、外付けブラインドに限る)	
		+日在今然	4 4 1 14 1 -4	(11)		ずひらん	軒等を設ける	もい			-
		共同住宅等	1~4地域	(い)	-						1
				(は)							1
			5~7地域	(11)	-						1
				(3)	-						
			0.111-1-15	(は)	-						4
			8地域	(い)	- / .+	電効サナケで	フリナフトナリー まエク	等を設けるもの			1
) [Z. 7]	さし、軒等を設けるもの	1
				(は)			<u>おればキがい</u> E設けるもの	-5.7.1 - 6.7 - 6.00		\ TI-J CHXI/ 0 UV/	1
					開口部にひさし、軒等	建築的 の設置 ハング型	こ取り付けられ の場合の仕様	るもの {		寸遮蔽性能を有し、 「端から窓下端までの	
Ш					1-3 2 07 0.0						

住戸タイプ		温熱4/4	4
部屋番号		Νο	1
省Tネ住	- 宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号9	L 整理表による	3

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 断熱等性能等級

(第1 - 4面) の欄を設計者が記入のこと

	<u>ም</u>		の欄を設計者が記入の
	等級 地域区分	項目	設計內容説明欄 設計內容 記載図書 #
温熱		培育 結露の発生を 防止する対策	はいり行う に取る音 で a 透湿抵抗の小さい断熱材の使用有無 有 無 <mark>断熱範囲図</mark> 繊維系断熱材等、プラスチック系断熱材等
热環境	対東に関する季牛	別正する対象	
エネル		等級4 a~d	断熱材の室内側へ防湿層を設ける 以下による除外の適用 8地域を除く
ギー 消		等級3 a及びd	コンクリート躯体の外側に断熱層がある場合を除く 床断熱において、断熱材下側が床下に露出するか、 湿気の放出を妨げない構成を除く
費量に		等級2 a	透湿抵抗比 部位: (以上) <mark>透湿抵抗比計算書</mark> (以上) 内部結 露計算書 内部結 露計算書
関すること			結露域が生じないことが確認される b 屋根又は外壁を断熱構造とし、断熱層の外気側への 通気層の設置、その他換気上有効な措置を講じている 該当しない 措置あり 措置なし
٥			c 鉄筋コンクリート造 構造熱橋部(玄関床部分を除く)の断熱補強あり 建設地の気象データを用いた計算により、 構造熱橋部に結露が発生しないことを確かめている 大断熱工法 構造熱橋部 梁・柱が室外側に突出している
			1,2 3 4 5
		床面	断熱補強範囲 500 200 150 125 以上 熱抵抗基準値 0.4 0.1 0.1 0.1 以上
		壁面	断熱補強範囲 100 - - 以上 熱抵抗基準値 0.1 - - 以上
		- + <i>-</i>	梁・柱が室外側に突出している
		床面	断熱補強範囲 200 75 50 - 以上 熱抵抗基準値 0.2 0.1 0.1 - 以上
		壁面	断熱補強範囲 150 75 50 - 以上 熱抵抗基準値 0.2 0.1 0.1 - 以上
		床面	梁·柱が室内側、室外側のいずれにも突出していない 断熱補強範囲 200 100 75 - 以上
		壁面	熱抵抗基準値 0.2 0.1 0.1 - 以上 断熱補強範囲 200 75 75 - 以上
			<u>熱抵抗基準値</u> 0.2 0.1 0.1 - 以上
			断熱材の種類(
			断熱材の種類(mm) mm) が mm mm) が mm m
			外断熱工法 構造熱橋部 梁・柱が室内側に突出している 1,2 床と壁の 断熱補強範囲 75 取合部 熱抵抗基準値 0.1 梁・柱が室内側、室外側のいずれにも突出していない 壁と屋根の 断熱補強範囲 50 取合部 熱抵抗基準値 0.1 以上 以上 以上 以上
			床と 断熱材の種類(mm) mm) m合 熱伝導率 (W/mK) m ² K/W)
			壁と 断熱材の種類() 屋根 断熱材の厚さ (mm) 取合 熱伝導率 (W/mK) 部 熱抵抗値 (m²K/W)
			d 鉄筋コンクリート造 / 内断熱工法 断熱材をコンクリート躯体に全面密着等の措置あり

住戸タイプ		一次エネ	1/1
部屋番号		N 0	1
省エネ住	宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号雲	整理表によ	る

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-2 一次エネルギー消費量等級

(第2面)

								の欄を設計者が記入の	<u> </u>
等			項	目	設計内容			記載図書	確認
	或区分								欄
温	評価適用基準								
熱環	一次エネル	ギー消費	量	基準				一次エネルギー	
圾境	≐八≐↓按丁		Ы	中学売得の中産	 i積比率に適合する			消費量計算結果 外皮等面積	
* 7 2	設計施工 指針	戸建		文守 画領の床ഥ 1~3地域	<u>1傾に挙に過占する</u> 2.9以下			床面積比率計算書	
ェ	附則 6)))		4~8地域	2.8以下			冰山镇几平可弃自	
ネ	0 02114	共同等		1~3地域	0.3 × (界壁·界床等)	T. 看合計 / 床面積合計	計) + 2.9 以下	床面積比率計算書	
ル				4~8地域	0.5 × (界壁·界床等)				
エネルギー			外	皮性能					
					皮性能が等級4の基準に	:適合相当(結露発生	防止基準を除く)	外皮性能適合確認書類	Į
消費				設計施工指針附		W#8## /#	ΛΛ-Δ-ΛΛ-ΛΛ-ΛΛ-ΛΛ-Λ-Λ-Λ-Λ-Λ-Λ-Λ-Λ-Λ-Λ-Λ-	附則適合確認書類	
量	5 - 2		_	カー・コード			築主等判断基準)	4 L =	
に	一次エネルギ - 消費量等級			次エネルギー 費量	・設計一次エネルギ	一月買重 別途計算書による	GJ/年)	仕上表 平面図	
関	川貝里寸級		/H.	貝里	┃ ┃·基準一次エネルギ		0074	矩計図	
す					4	別途計算書による	GJ/年)	7-11-H	
すること				面積等	・主たる居室の面積	・その他の居	室の面積)		
۷ ـ					・床面積の合計		i書による m²)		
۲				単位温度差当/	こりの外皮熱損失量(q)			
			基		当たりの冷房期の日射				
			本事	半位口射蚀及3	当たりの暖房期の日射	熱以侍重(MN) 別途計算書による	W/K		
			項	床面積あたりの		別処可弁首による	VV / K		
			等	一次エネルギー	·消費量(別途計算書による	MJ/(m²·年))		
				自然風利用		·主たる居室 · そ			
				蓄熱利用	·蓄熱の利用				
					()		
			±л	暖房方式	·暖房方式	冷房方式·冷	房方式	平面図	
			協備	換気設備方式	·換気設備方式			機器表 系統図	
			備機	給湯設備	·給湯熱源機 ·配管方式 ·水	栓 · 浴槽	·太陽熱給湯		
			器概	照明設備		の他の居室	・非居室		
				太陽光発電設備		コージェネレーシ			
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	()		
						指針附則6(設計旅	6工指針附則)		
			・眼	房設備	(8地域を除<)			一次エネルギー	
				単位住戸全体	本を暖房する方式		.0. 0.0+1.>=	消費量計算結果	
				居室のみを明	ダクト式セントラル	<u> </u>	・ホンフが熱源		
				店至のみを吸	友房98万式 1~4	+ 掛 + 哉	5 .		
				連続運転	石油熱源機を用い	•	ガス熱源機を用い		
				2,30214	温水暖房用パネル	ラジエーター	温水暖房用パネノ	レラジエーター	
					JIS S3031熱効率			5 82.5%以上 かつ、	
					配管に断熱被覆あ	•	配管に断熱被覆を		
				間歇運転	密閉式石油ストー: JIS S3031熱効率			ナー JIS B8615-1	
					303 3303 1 無效が率	80.0 % 以上		電力で除した数値が 力(KW)+6.16以上	
				これと同答い	<u>l</u> 上の評価となる				
			٠;	房設備	上く日三国になる				
					本を冷房する方式				
					ダクト式セントラル	空調であってヒート	・ポンプが熱源		
				居室のみを明					
				間歇運転	ルームコンディショナー		t_ ※h /古 が	各設備での同等以上の	
					-0.504×暖房能力	能力を消費電力で除し KW)+5.88以 F	ノに数1070	評価となる等の評価とする 場合、標準仕様の計算書	
				これと同笑い	上の評価となる	,		と設計設備仕様で計算し	
			. ‡f	これ <u>に回寺以</u> 受気設備	エの評価となる 全般換気設備の比	消費電力		た一次エネルギー消費量	
				マスロス 1州			W/(m3/h))以下	計算結果が必要となりま	
			12		換気回数0.5回以	トの場合にあいているに		1 4	
			Ja		換気回数0.5回以 これと同等以上の		() / 5. 1	す	
				照明設備		平価となる		9	
			· E		これと同等以上の	平価となる		9	
			· E	洽湯設備	これと同等以上の 非居室に白熱灯を これと同等以下の	評価となる 採用しない 生能の照明設備を採月	用しない	9	
			· E	3湯設備 1 -	これと同等以上の 非居室に白熱灯を これと同等以下の 4 地域	評価となる 採用しない 生能の照明設備を採月 5 ~ 8	用しない 地域	9	
			· E	3湯設備 1 - 石油給湯機	これと同等以上の 非居室に白熱灯を これと同等以下の 4 4地域 JIS S2075	評価となる 採用しない 生能の照明設備を採月 5~8 ガス給湯機 JISS	用しない は地域 32075	9	
			· E	3湯設備 1 - 石油給湯機 モード熱効率	これと同等以上の 非居室に白熱灯を これと同等以下の 4 4地域 JIS S2075	評価となる 採用しない 生能の照明設備を採月 5 ~ 8	用しない は地域 32075		

住戸タイプ		温熱1,	/4
部屋番号		Νο	1
省エネ住	宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号	整理表によ	る

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 省エネルギー対策等級

(第3-1面)

									(1)1	欄を設計者が記入のこと	•
性	能表示事項 5 - 1	躯	体の断熱性能	開口語	部の断熱性	能			0,7	結露発生防止対策	
	5 - 1 イ 熱損失係数等基準		熱損失係数				夏期	日射取得係	系数	結露発生防止	
	5 - 1 🛘		熱貫流率		口部の熱質)夏期日射侵			
-	熱貫流率等基準 等級		熱抵抗値 項目		口部の建身	具仕様	開口	部の日射像	是入防止	記載図書	確認
-			垻日 	設計内容	Ť					記 製 凶 音	欄
温	躯体の断熱性能は	こ関す	る基準								IIA
索	5 - 1 イ		熱損失係数	· 熱損	失係数の基	準値 W/i	m2K ⁻	下記選択数	値以下	熱損失計算書	
境控	熱損失係数等基準		Q値							断熱範囲図	
に			等級4 等級3	1.6 1.8	1.9	2.4 3.1	2.7 3.6		3.7 6.2	平面図 矩計図	
関			等級 2	2.8	4.0	4.4	4.9		7.1	計算以值計算書	
に関すること			13 /// -		己計算値は熱					II F VIEW FE	
2					₿の熱貫流™		羕∪値	計算U値	併用		
ح					規模な住宅			- 1 13 	,, <u></u>		
	5 - 1 🗆	1/11		冬 (学に日射を	傾極的に取	リ人れる	ことが可能な)	住宅 外断熱	断熱範囲図	+
	熱貫流率等基準	.,	断熱材仕様	(ý	内断熱	平面図	
	15 /± 0		断熱材厚さ	(mm)	熱伝導率	(W/m·K)		矩計図	
	│ 躯体の │ 断熱性能等		熱抵抗値 熱貫流率	(m ² •K/W) W/m ² •K)						
		2/11		(VV / III IX))	外断熱		
			断熱材仕様	(±+ /= >= -	,)	内断熱		
			断熱材厚さ 熱抵抗値		mm) m ² ·K/W)	熱伝導率	(W/m⋅K)			
			熱貫流率	(W/m ² ·K)						
		3/11		()	外断熱		
			断熱材仕様 断熱材厚さ	(mm)	熱伝導率	() W/m⋅K)	内断熱		
			熱抵抗値	(m ² ·K/W)		(,,			
		4/44	熱貫流率	(W/m²·K)			\	外断熱	-	
		4/11	断熱材仕様)	内断熱		
			断熱材厚さ	ĺ	mm)	熱伝導率	(W/m·K)			
			熱抵抗値 熱貫流率	(m ² ·K/W) W/m ² ·K)						
		5/11		(W/m·K))	外断熱	-	
			断熱材仕様	(ý	内断熱		
			断熱材厚さ 熱抵抗値		mm) m ² ·K/W)	熱伝導率	(W/m·K)			
			熱貫流率		W/m ² ·K)						
1		6/11)	外断熱		
1			断熱材仕様 断熱材厚さ	(mm)	熱伝導率	(W/m·K)	内断熱		
			熱抵抗値	(m ² •K/W)		(***			
		7/44	熱貫流率	(W/m²·K)			\	んし以こ去か	-	
I		7/11	断熱材仕様	()	外断熱 内断熱	10110 10110 10110 10110 10110	
			断熱材厚さ	(mm)	熱伝導率	(W/m⋅K)			
			熱抵抗値	(m ² ·K/W) W/m ² ·K)						
		8/11	熱貫流率		w/m·K))	外断熱	10110 10110 10110 10110 10110	
			断熱材仕様	Ì				ý	内断熱		
1			断熱材厚さ 熱抵抗値		mm) m²·K/W)	熱伝導率	(W/m·K)			
I			熱質流率	(m-•K/W) W/m ² •K)					10110 10110 10110 10110 10110	
		9/11		()	外断熱	10.10 10.10 10.10 10.10 10.10	
			断熱材仕様 断熱材厚さ	(mm)	熱伝導率	() W/m⋅K)	内断熱	10110 10110 10110 10110 10110	
			熱抵抗値	(m ² ·K/W)		(v v / 111' rx)		00.00 00.00 00.00 00.00	
L			熱貫流率	į (W/m ² ·K)						

住戸タイプ		温熱2/4	1
部屋番号		Νo	1
省エネ住	宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号	整理表による	3

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 省エネルギー対策等級

設	計内容説明書<鉄	筋:	コンクリート造	等	用 >	<u>5-1 省</u>	エネル	<u>/ギー対策</u>	等級	o ا	(第3 - 闌を設計者が記入のこと	2面)
	等級 地域区分		項目	設	計内容						記載図書	確認 欄
温熱環境に関すること	熱貫流率等基準 躯体の 断熱性能等	/11	断熱材仕様 断熱材厚さ 熱抵抗流率 断熱材仕様 断熱材厚値 熱抵抗値	((((((((((((((((((((mm) m²·K/W W/m²·K mm) m²·K/W	() (<u>)</u> 熱伝導	率 ()) W/m·K))) W/m·K)	外断熱 内断熱 外断熱 内断熱		
			熱貴流率 構造熱橋部 の基準 地域区分 断熱補強範囲 熱抵抗基準値 地域区範囲 熱抵抗基準値 熱抵抗基準値		内断熱 900 0.6 外断熱 450 0.6	6 (工法	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, 450 0.6 , 200 0.6	-	以上以上以上	断熱範囲図 断熱補強緩和検討書	
				井 壁	断熱熱断断熱熱断断熱熱的断熱熱	率値のの変値のの率値屋を ((又	は天井、	mm) W/m·K) W/m²·K) mm) W/m·K) W/m²·K) mm) W/m·K) W/m·K) W/m·K)				
	開口部の断熱性能	等に				<u>热補強を</u>			和検討書添			
	5-10 熱貫流率等基準 開口部の 断熱性能等		開口部の 熱貫流率 等級4 等級3 等級2		2 % 2.33 2.33 3.49	の 緩和の 2.33 3.49 4.65 の 熱貫流	適用あり 3.4 4.6 6.5	9 4.65 5 6.51	6.51	但以下 6.51 6.51 6.51 併用	2%緩和計算書 計算U値計算書	
			開口部の 建具仕様		開口部	の建具(引き戸	士様 建身 代表 建身		か合わせの組み合わせの組み合わせの組み合わせの組み合わせの組み合わせの	번 번	2%緩和計算書	

住戸タイプ		温熱3/4	4
部屋番号		N o	1
省エネ住	宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号	整理表による	3

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1省エネルギー対策等級

(第3-3面)

		J 27 (7373		_ • • • • •		エイルモ	7176	- INVA	の村	闌を設計者が記入のこと	
	等級		項目	設計内容						記載図書	確認
,	地域区分	I			± 1 == /= /=	- 111 - 1 1 1					欄
	5 - 1イ 熱損失係数等 基準	夏期日射 μ値	取得係数	・ 夏期日	射取得係	系数の基準 	値 下	記選択数位	値以下 	夏期日射取得係数計	算書
境	* T		等級4	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.06		
に			等級3		-	0.10	0.10	0.10	0.08		
関			2	上記	計算値は夏	夏期日射取	得係数計算	書を添付	要		
する				計算	U値による	夏期日射取	得係数計算	算はできま1	せん		
C1 &										する <mark>ことはできません</mark>	
ځ	5 - 1口 熱貫流率等 基準	窓の夏期	日射侵入率	・窓の夏斯	月日射侵 <i>)</i> の緩和の適	• •	下	記選択数位	値以下	4%緩和計算書 夏期日射侵入率計算	書
	金十 開口部の 日射			170	J NOZ 1 H V J Z	2/13097			1		
	日初 侵入防止	等級4	真北±30°	0.52	0.52	0.55	0.55	0.55	0.60		
		13 /// .	上記以外	0.52	0.52	0.45	0.45	0.45	0.40		
		等級3	真南±112.5°	-	-	0.60	0.60	0.60	0.60		
				計算	U値による	る計算プロ	グラム上の	D日射侵入	率は使用す	することはできません	
		開口部の		·開口部の)建具、付	属部材他	日射侵)	\防止部标	才仕様	4%緩和計算書	
			、ひさし、軒 射の侵入防止	4%	緩和の適	囲あり					
			地域					仕様			
		等級4	•	全方位		ラスの日射像 属部材又は					
				真北±30	付加	ラスの日射係 属部材を設	ける				
				上記以外		ラスの日射係 属部材又は					
			•	真北±30	。 ガラ	ラスの日射係 属部材を設	曼入率 0.6				
				上記以外	ガ: 内:		夏入率 0.6 ド又はこれ	6未満+付 と同等以上		はひさし、軒等 抜性能付属部材	
				真北±30	付加	ラスの日射係 属部材を設	ける				
				上記以外	遮紅紙	5スの日射(熱複層ガラ <i>)</i> 障子又はこえ 属部材及び	ス·遮熱低が れと同等以	放射複層ガ 上の日射過		冨部材又はひさし、軒等 属部材	
		等級3		東北東から 西北西	南を経て	ガラスの	の日射侵入 材又はひさ	率 0.66以			
					オーバーノ	の設置の場 (ング型日隙)出寸法がる	除けで、 <u>東</u> 南			<u>での方位</u> に設置 0.3倍以上	

住戸タイプ		温熱4/4	4
部屋番号		Νo	1
省エネ住	宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号	整理表による	Ś

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 省エネルギー対策等級

(第3 - 4面) の欄を設計者が記入のこと

			の欄を設計者が記入の
	等級		設計内容説明欄
	地域区分	項目	設計内容記載図書
温	<u> </u>	結露の発生を	透湿抵抗の小さい断熱材の使用有無 有 無 断熱範囲図
熱	結露の発生を防止する	防止する対策	繊維系断熱材等、プラスチック系断熱材等
環	対策に関する基準		(JIS A 9511 発泡プラスチック保温材 [ただしフェノールフォーム保温版3種2号除〈]
境			JIS A 9526 建築物断熱用吹付ウレタンフォームに規定する吹付硬質ウレタンフォーム
•	5 - 1 1	等級4	A種1、A種2に適合するものを除()
I	熱損失係数等基準	~	断熱材の室内側へ防湿層を設ける
ネ			以下による除外の適用
ル	5 - 1 0	等級3	地域を除く
ギ	熱貫流率等基準	及び	コンクリート躯体の外側に断熱層がある場合を除く
I		AT 17 .	床断熱において、断熱材下側が床下に露出するか、
肖		等級2	湿気の放出を妨げない構成を除く
費			透湿抵抗比 部位: <mark> </mark>
Ī			以上)
ت			一次元の定常計算により 内部結露計算書
関			結露域が生じないことが確認される
J			屋根又は外壁を断熱構造とし、断熱層の外気側への
3			通気層の設置、その他換気上有効な措置を講じている
-			該当しない 措置あり 措置なし
Ŀ			
_			鉄筋コンクリート造
			構造熱橋部(玄関床部分を除く)の断熱補強あり
			建設地の気象データを用いた計算により、構造熱橋部結露
			構造熱橋部に結露が発生しないことを確かめている検討書
		a	内断熱工法 構造熱橋部 断熱範囲図
		地域のみ	梁・柱が室外側に突出している
		<u> </u>	a
		床面	断熱補強範囲 500 200 150 125 以上
			熱抵抗基準値 0.4 0.1 0.1 以上
		壁面	断熱補強範囲 100 UL
			熱抵抗基準値0.1--以上
		•	梁・柱が室外側に突出している
		床面	断熱補強範囲
		WIN 1111	Math
		壁面	断熱補強範囲
		土岡	Math
		<u> </u>	※・柱が室内側、室外側のいずれにも突出していない
		床面	M
			熱抵抗基準値
		壁面	
		美国	熱抵抗基準値
			断熱材の種類()
			【 can b M M M M M M M M M M M M M M M M M M
			床面 断熱材の厚さ (mm) 熱伝導率 (W/mK)
			熱抵抗値 (m²K/W)
			断熱材の種類(
			断熱材の厚文 (mm)
			壁面 熱伝導率 (W/mK)
			熱抵抗値 (m²K/W)
			TANGUNDE (III IV/ VV)
		地域のみ	<u>外断熱</u> 工法 構造熱橋部
			梁・柱が室内側に突出している
			床と壁の 断熱補強範囲 75 以上
			取合部 熱抵抗基準値 0.1 以上
			梁・柱が室内側、室外側のいずれにも突出していない
			壁と屋根の 断熱補強範囲 50 以上
			取合部 熱抵抗基準値 0.1 以上
			床と 断熱材の種類()
			壁の 断熱材の厚さ (mm)
			取合 熱伝導率 (
			部 熱抵抗値 (m²K/W)
			壁と 断熱材の種類()
			屋根 断熱材の厚さ (mm)
			取合 熱伝導率 (W/mK)
			部 熱抵抗値 (m²K/W)
			EL INCIMINATE / III IV/ AA)
		Ī.	
			┃ 鉄筋コンクリート造/内断熱工法 ┃
			鉄筋コンクリート造 / 内断熱工法 断熱材をコンクリート躯体に全面密着等の措置あり